

成人のための識字教育

プロジェクト背景

カンボジアでは、文字の読み書き・計算ができないことで、市場で値段や契約書が読めず、**商売で騙されてしまったり、希望する職を得られず、貧困から脱出できずにいる人々が多くいます。**

また、**識字教育を受けていないことへの影響は、時に子どもたちへも及びます。**お父さん、お母さんが教育を受けてこなかった場合、家計の厳しさ・貧しさから、子どもたちに「学校へ行くこと」よりも、「家事の手伝い」を優先させてしまう場合があります。



識字クラスの開講

JHPは、子どもたちが学校で学ぶ時に大きな後押しになるのは

家庭における両親の励ましや教育の大切さへの理解であると考えています。

お父さんやお母さんが学ぶことの喜びや大切さを体得した上で、子どもたちの教育を向上させるための**精神的な支え**になってもらうため、**お父さんやお母さんの「識字率の向上」**を目指しています。

2018年10月より、コンポンチャム州の非識字率の高い4村で**100名の生徒**を対象に識字クラスがスタートしました。

識字クラスの生徒たちは、読み書きができることが**自信に繋がる**だけでなく、昇進による給料アップなど、**仕事や生活の質が向上**しています。

今後、本事業の継続・発展のため、ご支援・ご協力をお願いします。